

事業所名 小規模多機能居宅介護「笑楽日」・グループホーム「風楽里」

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和8年10月21日 風楽里アルコーブにて		
当日あつまって頂いた委員の皆様		議 題
利用者	5人	①自己紹介
利用者家族（風楽里）	0人	②活動状況報告.
// （笑楽日）	1人	スライドショー
知見者	1人	③身体拘束適正化検討委員会
市職員	1人	④風楽里外部評価
地域包括支援センター	1人	
地域住民の代表者	1人	
事務局	3人	
職員介護従事者	0人	

1 自己紹介

2 活動状況報告 活動状況報告書を読みながら報告。

スライドショーを見ながらこの2か月の活動を報告する。

瀬戸信用金庫栄町支店にて笑楽日、風楽里、善毎の利用者様や、園児の作品の展示を見に出かけたこと。

花火見物やうなぎを焼いて食べたことなど夏らしい行事で楽しんだこと

地域の方々とチェアヨガを通して交流の機会を持てたこと等の報告をする。

ヨガの利用者さんの参加状況についての質問では、会場のスペースの問題で、

地域開放の日と別日に笑楽日、風楽里の方全員参加で行ったことを回答。

4回のバリデーションについて利用者さんに変化はあるのかとの質問では、

はっきりと何がとは言えないが、車で出かけて、講師の方や別事業所の利用者さんと話し合ったり、歓談したりと楽しんでおられる旨を回答。

3 身体拘束適正化委員会

事務局・・・ただいまから身体拘束適正化委員会を開きます。

委員の方引き続き宜しくお願いします。

今月の研修は身体拘束についてでした。基本的な定義から、具体例、拘束の影響や、身体拘束をこれからは行わないためにすべきこと。拘束する理由ではなく、拘束しなくても安全に過ごせる方法を考えることが大切である。とまとめています。

事務局・・・職員の言葉使いについて、きつい言い方を聞いたとき、その場で指摘することに躊躇する。との意見がある。良い方法はないか。

地域包括・・・自分自身の、日々の振り返りの時間が必要だと思う。

今日の自分はどうかだったか。自身の心の様子はどうかだったか。

地域住民の代表・・・介護の経験から、何度も反省し、繰り返してまた反省だった。

余裕を持つことが大事だと思う。

事務局・・・ありがとうございました。

話し合って、みんなで共有できるとよいと思います。

これで身体拘束適正化委員会を閉会します。

4 風楽里外部評価

運営推進会議を通して今年度の外部評価をしたいと思います。

まとめた資料を配布します。この中で職員の自己評価が低かった項目は防災についてでしたので、ご意見を伺いたいと思います。

地域の代表・・・この地域の方も避難所が開いても自宅の中で過ごす方も多いだろうと思います。この施設はやはり、ここで過ごすのですね。

事務局・・・はい、倒壊の恐れや、インフラの致命的な損壊がない限り、基本的には、業務は継続する想定です。

事務局・・・年二回の避難訓練は、振り返りの反省点を出してもらっていますが、企画する者として、代り映えしないとも思います。

高齢福祉課・・・同じ訓練を繰り返すことによって気付きもあります。

断水時や、停電時などの場合の避難なども考えてはどうか。

地域包括・・・防災対策として備蓄の充実も必要です。

事務局・・・はい。不足感があります。実際被災した時は、市に報告ですね。

高齢福祉課・・・県からの介護サービス情報報告システムの中に、被災情報の報告欄がありますので、そこに入力してください。防災についての自己評価は、低くなりがちだと思います。

事務局・・・確認します。まとめた資料の中に、外部評価の欄がありますので、記入していただいて、次回の運営推進会議にお持ちください。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

これで第4回運営推進会議を終了します。